



令和 6(2024)年 3 月 22 日

生 徒
保護者 各位

神戸大学附属中等教育学校
校 長 井 上 真 理

令和 5(2023)年度 学校評価について

早春の候、保護者のみなさまにおかれましては、日頃より本校教育活動に御理解及び御協力いただき、誠にありがとうございます。

生徒及び保護者のみなさまから回答いただきました学校評価アンケート並びに職員による学校評価アンケートを資料として、学校経営計画について自己評価を行いましたので、下記のとおりお知らせします。

なお、12 月に実施しました[生徒による授業評価](#)及び[昨年度の学校評価](#)については、[本校 HP](#) に掲載しています。

記

1 学校評価アンケート回答状況

2023 年度	生徒		保護者		教員	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1年	113	93.4	71	58.7	4	80.0
2年	110	88.7	72	58.1	5	100.0
3年	107	90.7	59	50.0	5	100.0
4年	104	86.7	82	68.3	4	80.0
5年	86	78.9	55	50.5	5	100.0
6年	23	18.4	32	25.6	5	100.0
学務部					5	100.0
生徒部					5	100.0
研究部					5	100.0
計	543	75.7	371	51.7	43	95.6

★ 複数回答があるため、回答率が100%を超える場合あり

2022 年度	生徒		保護者		教員	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1年	89	73.6	115	95.0	3	60.0
2年	103	83.1	111	89.5	4	80.0
3年	97	82.2	97	82.2	2	40.0
4年	110	91.7	100	83.3	3	60.0
5年	100	91.7	92	84.4	6	120.0
6年	15	12.0	60	48.0	5	83.3
学務部					3	75.0
生徒部					2	40.0
研究部					4	80.0
計	514	71.7	575	80.2	32	71.1

★ 複数回答があるため、回答率が100%を超える場合あり



2 生徒による評価

生徒による評価	1年	2年	3年	4年	5年	6年	4p そう 思う	3p ほぼ そう 思う	2p あまり そう 思わない	1p そう 思わない	平均
回答数 回答率	113 95.8	110 90.2	107 86.3	104 89.7	86 76.1	23 21.5					543 77.6
Q1 社会のルール・マナーを守り、毎日の生活を過ごしている。	3.5	3.5	3.6	3.6	3.4	3.4	69.9%	57.3%	2.1%	0.2%	3.52
Q2 授業には、積極的に参加している。	3.3	3.3	3.2	3.1	3.2	3.3	43.4%	73.3%	11.0%	1.9%	3.22
Q3 授業の内容や教え方を工夫している先生が多い。	3.7	3.3	3.0	3.0	3.2	3.3	48.7%	66.6%	12.2%	2.1%	3.25
Q4 グローバルな視点から考え、真理探究につながる学びの機会がある。	3.5	3.2	3.2	3.2	3.0	3.1	48.9%	62.3%	16.5%	1.9%	3.22
Q5 命や人権の大切さについて考え考え、学ぶ機会がある。	3.4	3.1	3.1	3.0	2.7	3.2	41.1%	62.3%	22.4%	3.8%	3.08
Q6 Kobeプロジェクト(総合的な探究(学習)の時間)は、自分にとって大切な学びの機会である。	3.5	3.5	3.1	3.2	2.9	3.3	58.0%	55.1%	12.2%	4.3%	3.29
Q7 地震や火災などの発生時、避難方法などどうすればよいか学ぶ機会がある。	3.2	3.0	3.2	3.1	3.0	3.2	40.6%	62.8%	23.9%	2.4%	3.09
Q8 学校行事は、自分自身が成長する機会になっている。	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.3	72.6%	48.7%	6.9%	1.4%	3.48
Q9 生徒の主体的活動(生徒会、委員会、行事実行委員会、ASTA、FIT、部活動等)には、積極的に参加している。	2.9	3.1	3.0	3.0	3.1	2.9	49.9%	45.1%	23.2%	11.5%	3.03
Q10 先生は、的確に自分を評価してくれる。	3.4	3.2	3.1	3.0	3.2	3.3	42.2%	73.7%	10.5%	3.1%	3.20
Q11 先生は、いじめや生活・学習の問題について対応してくれる。	3.5	3.2	3.1	3.1	3.2	3.2	48.2%	66.1%	12.6%	2.6%	3.23
Q12 学校の施設・設備が充実している。	2.9	2.6	2.5	2.4	2.7	2.9	22.9%	50.1%	40.8%	15.8%	2.62



3 保護者による評価

保護者による評価	1年	2年	3年	4年	5年	6年	4p そう 思う	3p ほぼ そう 思う	2p あまり そう 思わない	1p そう 思わない	平均
回答数 回答率	71 60.2	71 58.2	59 47.6	81 69.8	55 48.7	32 29.9					369 52.7
Q1 学校は、教育目標や教育方針をわかりやすく保護者に伝えている。	3.4	3.1	2.9	3.1	3.1	3.2	20.1%	42.2%	8.5%	0.6%	3.15
Q2 学校の教育目標や教育方針に賛同している。	3.6	3.4	3.0	3.5	3.3	3.4	33.5%	32.7%	4.3%	1.0%	3.38
Q3 学校は、十分な情報をBLEND、ホームページ等で伝えている。	3.5	3.3	3.0	3.2	3.3	3.4	27.9%	36.2%	6.4%	1.0%	3.27
Q4 学校は、子どもたちが安心して学べる環境づくりをしている。	3.4	3.3	2.9	3.2	3.2	3.5	27.1%	34.2%	8.7%	1.4%	3.22
Q5 学校は、子どもたちが主体的に取り組む教育活動を行っている。	3.7	3.6	3.2	3.5	3.6	3.6	42.9%	24.2%	3.5%	0.8%	3.53
Q6 学校は、グローバルな視点に基づき、真理探究につながる教育を行っている。	3.4	3.3	2.8	3.1	3.2	3.4	26.1%	34.4%	9.3%	1.5%	3.19
Q7 教員は、わかる授業・生徒の学習意欲を引き出す授業に努めている。	3.3	3.2	2.6	3.0	2.9	3.1	17.2%	39.3%	12.8%	2.1%	3.00
Q8 教員は、家庭連絡や保護者との意思疎通を図ろうと努めている。	3.3	3.0	2.8	2.9	3.0	3.0	19.0%	35.8%	13.7%	2.9%	2.99
Q9 教員は、子どもの悩みや健康について気を配り、子どものことを理解しようと努めている。	3.3	3.1	2.8	3.0	3.0	3.3	20.7%	37.5%	11.2%	1.9%	3.08
Q10 教員は、子どもの努力や能力を適切に評価している。	3.4	3.3	2.9	3.1	3.2	3.3	22.8%	40.6%	6.6%	1.4%	3.19
Q11 子どもは、社会のルール・マナーを守り、生活習慣の基本が身についている。	3.3	3.0	2.8	3.2	3.1	3.3	18.6%	42.7%	8.9%	1.2%	3.10
Q12 子どもは、学校にたくさんの友だちがいると言っている。	3.4	3.2	2.9	3.1	3.1	3.5	27.5%	31.5%	10.4%	1.9%	3.18
Q13 子どもは、主体的活動(生徒会、委員会、行事実行委員会、ASTA、FIT、部活動等)に積極的に参加したり協力している。	3.1	3.1	2.9	3.0	3.2	3.4	27.3%	25.9%	14.7%	3.5%	3.08
Q14 この1年間で、子どもなりに成長したことが感じられる。	3.5	3.4	3.2	3.4	3.3	3.8	37.3%	27.5%	4.8%	1.7%	3.41



4 教員による評価

教員による評価	1	2	3	4	5	6	学務部	生徒部	研究部	4p そう 思う	3p ほ そう 思う	2p あ ま り そ う 思 わ な い	1p そ う 思 わ な い	平均
回答数 回答率	4 80.0	5 100.0	5 100.0	4 80.0	5 100.0	5 100.0	5 100.0	5 100.0	5 100.0					43 95.6
Q1 管理職は職員に対し、教育目標、教育方針、学校運営等に関する考え方や情報をオープンに伝えている。	3.5	3.2	3.4	3.0	3.4	3.4	3.4	3.6	3.6	51.4%	59.5%	5.4%	0.0%	3.40
Q2 神戸大学の附属学校として、学校の運営(経営)戦略(SSH、適性検査改革、高大接続等)は妥当である。	3.5	3.2	3.4	3.3	3.4	3.4	3.2	3.4	3.4	45.9%	64.9%	5.4%	0.0%	3.35
Q3 教育実践研究に、熱心に取り組む教員が多い。	4.0	3.4	3.6	3.8	3.8	3.4	3.4	4.0	3.4	75.7%	37.8%	2.7%	0.0%	3.63
Q4 校務運営に、熱心に取り組む教員が多い。	3.3	3.0	3.0	3.3	3.2	3.2	3.0	3.2	3.4	27.0%	81.1%	8.1%	0.0%	3.16
Q5 校務運営、教育実践研究にあたって、会議等は適切に機能している。	3.0	3.0	3.0	3.3	3.4	2.8	2.8	3.4	3.2	21.6%	81.1%	10.8%	0.0%	3.10
Q6 校務運営にあたって、教員間の協議・協力関係は適切に機能している。	3.0	3.0	2.8	3.0	3.2	2.6	2.8	2.8	3.2	16.2%	75.7%	24.3%	0.0%	2.93
Q7 危機管理に関する教員の意識水準は妥当である。	2.8	3.2	2.8	2.3	2.4	2.2	2.4	2.8	3.0	10.8%	51.4%	51.4%	0.0%	2.64
Q8 神戸大学との連携・協力関係は、全体として進んでいる。	2.8	2.8	2.8	2.7	2.6	2.2	2.6	3.0	2.8	8.1%	62.2%	43.2%	0.0%	2.69
Q9 教育目標や目指す子ども像を意識して、教育活動に励むことができた。	3.8	3.4	3.6	3.8	3.6	3.4	3.0	3.6	3.4	62.2%	48.6%	5.4%	0.0%	3.49
Q10 生徒に身に付けさせる資質・能力等を意識し、指導目標を立て教育活動を行い、適切に評価することができた。	3.5	3.2	3.8	3.5	3.4	3.0	2.8	3.4	3.2	43.2%	64.9%	8.1%	0.0%	3.30
Q11 積極的に授業実践や教育実践研究取り組み、進めることができた。	3.5	3.4	3.8	3.5	3.8	3.0	2.8	3.4	3.6	54.1%	56.8%	5.4%	0.0%	3.42
Q12 自己の校務には、責任を持って取り組むことができた。	3.8	3.4	3.6	3.5	3.6	3.6	3.0	3.8	3.6	64.9%	48.6%	2.7%	0.0%	3.53
Q13 校務運営にあたっては、他の教員と協力して参画できた。	4.0	3.2	3.2	3.5	3.4	3.0	3.4	3.6	3.6	51.4%	62.2%	2.7%	0.0%	3.42
Q14 社会のルール・マナーを守ることを徹底させようと、生活指導に努めた。	3.8	3.2	3.4	3.8	2.6	3.0	2.8	3.6	3.2	45.9%	51.4%	18.9%	0.0%	3.23
Q15 わかる授業、学習意欲を喚起する授業づくりに努めた	3.5	3.2	3.8	3.5	3.8	3.2	3.2	3.6	3.6	59.5%	54.1%	2.7%	0.0%	3.49
Q16 主体的活動(生徒会、委員会、行事実行委員会、ASTA、FIT、部活動等)を、支援することができた。	3.3	3.2	3.2	3.8	3.4	2.8	3.4	4.0	3.2	54.1%	48.6%	13.5%	0.0%	3.35
Q17 いじめなど生徒間の人間関係の把握に努め、個に応じた支援を行った。	3.8	3.4	3.4	3.3	3.6	3.2	3.4	3.6	3.2	54.1%	56.8%	5.4%	0.0%	3.42
Q18 学校行事等を通して、自治、協同の精神を育むよう支援することができた。	3.8	3.2	3.6	3.8	3.6	3.4	3.0	3.6	3.2	51.4%	64.9%	0.0%	0.0%	3.44
Q19 学校行事等にあたっては、事前準備や役割分担など他教員との協力体制がとれた。	3.5	3.2	3.0	3.5	3.2	2.8	3.2	3.0	2.8	29.7%	70.3%	16.2%	0.0%	3.12
Q20 担当する教室・施設・設備等は、安全管理の視点から整理整頓できた。	3.0	3.2	3.4	3.3	3.4	2.8	3.0	3.4	3.6	40.5%	62.2%	13.5%	0.0%	3.23
Q21 防災マニュアルや不審者対策、安全確保について、日常的に意識することができた。	3.3	2.8	3.4	3.3	2.6	2.6	3.0	3.2	3.2	32.4%	54.1%	29.7%	0.0%	3.02
Q22 諸表簿の記入・整理・保管及び物品の管理について、規則に従った。	3.5	3.2	3.8	3.5	3.2	3.2	3.4	3.6	3.4	48.6%	67.6%	0.0%	0.0%	3.42
Q23 他の教員や管理職に伝えるべき情報等について、速やかな伝達・報告を行った。	3.5	3.4	4.0	3.8	3.8	3.2	3.4	3.6	3.6	67.6%	48.6%	0.0%	0.0%	3.58
Q24 個人情報については、規則に従い適切に取り扱った。	3.3	3.4	3.8	3.3	3.8	3.2	3.6	4.0	3.8	70.3%	43.2%	2.7%	0.0%	3.58
Q25 保護者との相互理解のため、必要な連絡や相談を適切に行った。	3.8	3.4	4.0	3.5	3.8	3.0	3.0	3.6	3.2	59.5%	51.4%	5.4%	0.0%	3.47
Q26 教育実践研究や教育実習の指導を充実させることができた。	3.5	3.2	3.8	3.5	3.8	3.0	3.0	3.2	3.6	54.1%	54.1%	8.1%	0.0%	3.40



5 令和5(2023)年度「学校経営計画」自己評価

領域	テーマ	方策等	担当部署	評価
学習指導	1 授業改善	教育課程委員会(授業力向上委員会)を中心に授業改善に取り組む。授業評価を実施し、評価平均3.0以上を実現できるように努める。	教育課程委員会、教科	B
	2 教育課程	前期課程は新学習指導要領の趣旨に則り、教育課程を編成する。SSHの研究開発課題を踏まえた教育課程を編成する。	教育課程委員会、SS推進室	B
	3 協同学習	協同学習についてSSHをはじめとする研究開発事業と連携する。主体的・対話的で深い学びを実現する柱として理論的に再整理する。	研究部	B
	4 Kobeプロジェクト	「1・2KP」から「卒業研究」に向けた6年間一貫性をもった系統的な指導体制の確立を目指す。	研究部、SS推進室	A
	5 ICT機器を利用する教育	ICT機器を利用し、ロッカー及びロッカールーム設置を前提としない教育活動を検討する。	ICT教育推進室	B
生徒指導	6 生徒の主体的活動	行事検討委員会と連携し、生徒会執行部の活動及び生徒による諸行事(文化祭・体育祭・音楽祭等)を支援する。	生徒部、行事検討委員会	A
	7 宿泊行事	学校行事改革を継続することに加え、多様な生徒に対応し、「勤務の適正化」に資する宿泊行事について検討する。	行事検討委員会	B
	8 部活動・諸活動	生徒の主体性・自治を確保しつつ、「勤務の適正化」に資する活動の在り方を検討する。保護者、大学部活動、地域の協力を要請し新たなモデル構築を試みる。	生徒部 各部顧問	B
	9 生活指導	シティズンシップ、倫理観、人権意識、自尊心及び公共心の育成に関して、多様性に富む「互いを認めあう」意識を道徳、HR、「公共」等を通じて、組織的な教育を行う。	生徒部、学年、公民科(社会科)	B
	10 教育相談	スクールカウンセラーと連携した教育相談事業を継続する。個々の生徒に応じた学習支援体制、家庭状況の変化についての研修を行う。	生徒部、教育相談委員会	A
	11 生徒福利	生徒・保護者の要望を踏まえ、必要な改善を検討する。異常気象下の空調については、各種要望等の調査をふまえて財政問題も含め総合的に検討する。	管理職、企画調整委員会、生徒部	B
進路指導	12 進路指導	新学習指導要領での大学入学者選抜情報を収集し、進路指導に関する情報共有を行う。進路指導体制の組織化を進め、特別選抜とともに一般選抜で合格できる実力を育成する。	学務部、学年	B
	13 進路広報	進路情報の公開を継続すると共に、学年保護者会等を通して、前期課程も含めた生徒・保護者への進路広報活動を強化する。	学務部	A
研究開発	14 キャリア教育	神戸大学day、インターンシップ等の事業を実施し、神戸大学との連携を強化する。	研究部	A
	15 SSH	SSH指定4年次。全職員の役割を確認し、wgを中心に事業を展開する。中間評価を受けて事業の点検を行う。	SS推進室 研究部	A
	16 国際交流	国際交流、国内研修の在り方を検討する。	SS推進室	B
	17 ユネスコスクール	SDGsの視点を強化し、SSH事業とも連携しつつ、「ESD」等のユネスコスクールの取組を継続発展させる。教科でもSDGsを意識した取組を進める。	研究部 SS推進室 教科	B
	18 研究活動	授業研究会とSSH報告会の1日開催を継続する。科研費基盤研究への申請をめざす。	研究部 SS推進室	A
危機管理	19 安全管理安全教育	防災訓練を実施し防災意識を徹底する。神戸市の支援を得て、防災備蓄物資の拡充を図る。アレルギー対応、教員研修の改善、生徒対象の感染症対策、防犯・防災・衛生教育を行う。	安全対策委員会	A
	20 情報管理・運用	個人情報保護の研修を行う。必要なICT機器整備を行う。ホームページを円滑に運用する。統合型校務支援システムを円滑に運用する。	管理職、ICT教育推進室	A
	21 施設整備	予算縮減化の中、業者による校舎清掃、必要な学習環境の整備を行う。空調管理、ICT教育環境について検討する。	企画調整委員会	B
学校運営	22 学校評議員会	学校評議員会の学校運営協議会(コミュニティスクール)への改組について、神戸大学及び附属学校部と協議しながら検討を進める。	管理職	B
	23 人事計画	人事配置計画を慎重に遂行する。在籍出向制度、長期研修制派遣制度など附属学校部と協議し、進める。	管理職	B
	24 同僚性構築	授業力・教育実務向上、ハラスメント対策等の研修を実施する。同僚性を高める場として、相互理解、合意形成の場を確保し、校内の授業公開等を活用する。	教育課程委員会、研究部、ハラスメント相談員	B



<左は神戸大学公式マスコットキャラクター「神大うりぼー」、右は神戸大学附属中等教育学校 SSH ロゴマーク>



	25 財政措置	予算急減に対応するため、借入金を検討するとともに、緊縮財政を徹底する。教育後援会の協力を得るとともに、附属学校部基金の運用を開始する。	管理職、総務担当	A
	26 勤務の適正化	「働き方改革」の提言に基づき、勤務の適正化を進める。労働時間管理システムの導入により、勤務時間管理を進める。	管理職事務室	A
	27 保護者対応	学年保護者会のPTA共催方式を継続する。PTSAの活動を推進するとともに、保護者と学校が情報共有できるよう工夫する。開催できていないPTSA開催をめざす。	総務担当、生徒部、学年	A
	28 適性検査広報	広報活動のあり方を検討する。新たな適性検査の実施に向けて準備を進める。	入学適性検査推進室	A
大学連携	29 高大連携	神戸大学との高大接続入試の成果を継承しつつ、「志」特別選抜に備える。SSH事業において管理機関である大学との連携を強化する。	高大接続委員会	B
	30 一貫教育	小学校との連携事業(教育活動、適性検査等)について検討する。	小中連携委員会	B